

もしくしゃきようだより

門司区社会福祉協議会

もし社会福祉だより

みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり

ふれあいネットワーク活動

市内155校(地)区社会福祉協議会では、福祉協力員やニーズ対応員という地域のボランティアの方を中心に、見守り・助け合い・話し合いの3つのしくみにより、支援を必要とする人が地域で安心していつまでも暮らせるよう、住民同士で支え合う活動を行っています。

コロナ禍の現在、お悩み事が増えているのではないかと思います。困ったときはお互いさま！ひとりで悩みを抱え込まずご相談ください。

見守り

のしくみ

福祉協力員(概ね50~100世帯に1人)が民生委員・児童委員等と連携し、支援が必要と思われる世帯を見守る活動です

助け合い

のしくみ

見守りで発見した日常生活上の問題のうち、ニーズ対応員(チーム)で、地域住民のできる範囲のものを手助けする活動です

話し合い

のしくみ

見守り・助け合いを進める中で出てきた問題点などについて、関係機関や団体と一緒に話し合いを行い、解決方法や役割分担を検討します

コロナ禍のいまだからこそ、 あたらしい「つながり方」を考えよう

～ピンチを前向きにとらえることで見えてくること～

講演会やサロンが開催されない、参加できないことで、いままで出来ていた「つながり」が切れてしまうかもしれないと暗い気持ちになる人もいるかもしれません。

感染症以外でも「集まらない状況」、例えば物理的な距離(会場が遠い)、立地(坂ばかりで不安)、時間が合わない(介護サービスの時間と重なる)、家庭を留守にできない(要介護者がいる)など集まりづらい人の要因は様々なかもしれません。

でも考え方を変えると、いままでの活動に少人数でつながる・時間・場所・情報をこまめに提供するなどの工夫を取り入れることで、選択肢が増え、つながりの輪が広がるかもしれません。その中から、助け合い活動への発展、災害時の対策、引きこもりがちな人の社会参加など、より充実した活動につながるチャンスになるのかもしれません。

大変なこの状況だからこそ、改めて人と人が気かけ合う心やその素晴らしさを実感出来ること、積み重ねてきた活動が次へのステップにつながることは素晴らしいことです。今までともに活動してきた仲間との協力があってできることです。私たちの地域の仲間とともに新しい一歩を踏み出しましょう。

ひとり、ひとりのやさしさから

赤い羽根 共同募金



10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」、12月1日から「歳末助け合い募金運動」が始まります。皆様からの善意の募金は、社会福祉協議会等を通じ、地域の様々な福祉活動に役立てられています。門司区では、地域で支え合いを進めるふれあいネットワーク活動や、地域福祉に関係する団体への事業助成、新入学児童へのランドセルカバー贈呈事業などに役立てられています。今年も赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い募金運動へのご協力をお願いします。



コロナ禍での地域活動を紹介!!



新型コロナウイルスを想定した「日常生活を営む上での基本的な生活様式を意識して「今できること」「やり方を変えて何か行動できないか」を実践している事例を紹介します。

古城校区社協

サロンの古城

古城校区では、自粛期間解除後すぐに消毒や換気の徹底などの感染症予防に気をつけながらサロン活動を再開しました!

自粛期間中でも「まだ再開できないの?」という声がたくさんあり、実際に自粛中は、身体がなまったり、手先がうまく使えなくなったなどの声もあがっており、サロン活動の重要性を再認識する期間となりました。

最近では、体操や手指の運動で身体や手先をほぐした後におしゃれな手作りマスクを作成しています。手指の運動をしないとしないのでは、全然進み具合が違うようで、針作業をする前の運動はおすすめです!



まずはしっかりと運動!



おしゃれな生地で作るマスク作り♪

つながろうのアイデア①

電話

見守り訪問活動やサロンで聞き覚えのある近所の方の声は安心でき、うれしいのではないのでしょうか。特別な用件はなくても声をかけてくれることは、閉じこもりがちな生活の中でも「誰かが気にかけてくれている」「つながっている」という気持ちが芽生えると思います。

このような安心感の中から、いままで話さなかった悩みや心配ごとを教えてくれるかもしれません。このような時こそ、気にかけていた方の情報を整理し、緊急時の対応に役立てることが出来るのではないのでしょうか。

「困ったことがあったらなんでも話してね」の言葉とともに「コロナウイルス感染症に便乗した詐欺も発生しているから、電話でお金の話は詐欺と思って」の声かけも有効です。



門司校区社協

にっこりサロン

門司校区では、7月からサロンを再開しました。再開するにあたって、まずは事前に役員でコロナ禍でもできるサロン活動について話し合いを行いました。話し合いの結果、屋外であれば3密にならないということで、ウォーキング+清掃活動を実施することに決定!

当日は、しっかりと体温チェック、アルコール消毒など感染症予防に気をつけながら活動をしました。雨の予報でしたが、みなさんのパワーで活動の間は雨も降らず、徐々に仲間と会えて笑顔があふれていました。



しっかりと体温チェック!



ウォーキング+ゴミ拾い

つながろうのアイデア②

おたより・情報を届ける

社協活動の取り組みや北九州市などの情報をおたよりやメッセージカードとして届けてみませんか。接触を避けるために郵送を利用し、その際往復はがきを取り入れることで返信によって安否確認や近況を聞くことが出来るかもしれません。また、活動者の運動を兼ねて歩きながら戸別にポストに投函することもひとつの方法です。インターフォン越しや縁側越しに一言交わす機会があるかもしれません。玄関先や庭の様子から暮らしぶりが見えてくることもありそうです。

また、みなさんが自宅で行っていることや情報をみんなで共有して、「みんながんばっているから、わたしもがんばろう」の気持ちをもっていただくことはとても有効です。ためになる情報を皆さんに伝えましょう。いろいろな情報を共有するために、みんなの声やアイデアを集める過程そのものが、コミュニケーションをするためのきっかけにもなるはずです。





『門司ボランティアグループガイドブック2020』 できました!

今回は見やすさを重視しました。初めてのカラー刷りで、活動内容を9つのカテゴリーに分けて掲載しています。

門司区を中心に活動するグループと市内外でも幅広く活動しているグループ、合わせて43グループを紹介しています。また、門司区ボランティア連絡協議会や門司区ボランティア・市民活動センターの紹介、ボランティア活動保険などの情報も盛り沢山です。ご入り用の方は、門司区役所2階にあるボランティア・市民活動センターにお越し下さい。



シルバーひまわり送迎サービス 8月から再開しています!

コロナ禍の影響で4月2日から運休していた虚弱高齢者の『送迎サービス』ですが、コロナ対策として、マスク着用、消毒液や非接触型体温計の携帯をして活動再開しています。



また、福祉車両も前後の座席間に透明の保護シートをしています。

待ってたぞー!



ボランティア活動する前に しっかりと保険の加入をしましょう!

今年度はコロナウィルス感染症の拡大防止のため、例年のようなボランティア活動ができない状況が続いています。しかしながら、きちんと感染予防対策を施して、少しずつ活動も再開されているボランティア団体や個人の方も出てきました。清掃活動や災害ボランティア中の怪我等、万一に備え、安心して活動するために『ボランティア活動保険』を受け付けています。年度間で掛けるタイプと行事ごとに掛けるタイプの2種類があります。是非、ご相談下さい。

門司区ボランティア 連絡協議会だより

総会

今年度の総会は、書面表決にて行われ、議案は全て賛成で可決されました。

門司を美しくする会

7月19日(日)曇り空の中、門司港レトロ地区で行われた清掃活動に12団体63名が参加しました。



清掃活動後に集合写真👏

こんにちは民生委員です⑩

||||| 新たに5人の仲間が増えました!! |||||

令和2年6月1日から門司区では新たに5人の民生委員・児童委員の仲間が増えました。今回は、そのうちのお一人、西門司校区の梅本秀美委員にお話しを伺いました。

コロナ禍の今、積極的な訪問活動は難しいけれど様々な工夫をされながら活動をしています。具体的な活動として、散歩がてら地図と照らし合わせながら対象者のご自宅を確認したり、町内の知り合いや関係者などから話を聞いたりして直接情報を得ることができないところは間接的に情報を得て、見守り、相談支援に役立っています。

今だからこそ人と人とのつながりが大切なので、コロナ禍でも、できるときにできることをしていきたいと力強く話されました。



※お住いの地区の担当民生委員については、下記までお問い合わせください。

- 門司区役所 保健福祉課
- 門司区民生委員児童委員協議会
- いのちをつなぐネットワーク係 事務局(門司区社協内)
- (093)331-1887(直) (093)331-3688



賛助会員へのご加入 ありがとうございます (年会費：団体101万円、個人101千円)

令和2年4月25日から9月2日までにご加入いただいた方をご紹介します。

※敬称は省略させていただきます。【受付順】

【団体】 門司区身体障害者福祉協会・門司区婦人会連絡協議会・門司区老人クラブ連合会・大積校区社会福祉協議会
 錦町校区社会福祉協議会・松ヶ江北校区社会福祉協議会・庄司校区社会福祉協議会・小森江東校区社会福祉協議会
 清見校区社会福祉協議会・松ヶ江南校区社会福祉協議会・田野浦校区社会福祉協議会・柄杓田校区社会福祉協議会
 大里東校区社会福祉協議会・大里南校区社会福祉協議会・門司校区社会福祉協議会・白野江校区社会福祉協議会
 大里柳校区社会福祉協議会・小森江西校区社会福祉協議会・伊川校区社会福祉協議会・門司区青少年育成協議会連合会
 萩ヶ丘校区社会福祉協議会・北九州市門司民生事業協会・丸山校区社会福祉協議会・藤松校区社会福祉協議会
 西門司校区社会福祉協議会・門司区民生委員児童委員協議会・門司区環境衛生協会連合会・門司区自治総連合会

【個人】 杉本あつ子・宮本 修次・堀山 妙子・清水 幸・石本美佐江・宇田 純子・大野 順子・原 博一・松田 好仁
 川村美代子・川村真由美・榎原 文雄・金子 純子・岩下 浩・西村コマヨ・森下 孝子・栗崎 信八・中口久美子
 生野 智之・川北 節子・馬郡 文子・浄西 久枝・松尾 直之・小原 琢治・藤原富美江・山本 妙子・五阿彌敏美
 眞弓麻紀子・中尾 裕子・藤井 博文・小野登代子・山下 俊子・榎田 成美・小宮 敬子・若本富士夫・酒井由紀子
 久芳 美佳・米原美美子・福本 康子・福本 須雅・浜岡 晶子・若山香代子・石田由香里・宮坂 孝子・岩谷くる美
 山田 洋子・竹内 直美・田中紀代子・梅本 秀美・尾崎 公子・竹田 康昌・高瀬 康明・國房 啓子・柳原 和代
 小野山美枝子・久保 迪子・金子 篤・宮川 喬好・樋口 賢宏・増田 英司・友瀬 隆・末永 文江・野口 悟
 中西由美子・権代ミヤ子・安倍 照家・光廣美津恵・日野村登美子・野坂千恵子・吉田 敬造・立石 泰雄・白野 明
 小島 有然・井上 純子・久鍋多佳子・富耒 朝子・宮下 勝馬・木邊 文夫・岩佐 博子・野口 糸子・久藤美恵子
 横川美紀彦・秋成 武典・香川小夜子・富来 憲章・小林久美子・藤島 智子・京極 義徳・森口 秀子・内藤 照子
 磯金大二郎・白川 英文・猪原 啓介・内藤 房子・岡田 尚代・早野 堅三・原 憲一・松本 洋一郎・今村 伸夫
 橋上 靖洋・宮内 芳雄・中野 寛・池本 昭子・馬場 葉子・古田 容子・井上 雅信・立石 敏和・藤岡きみ江
 渡邊 渡・菊池 照代・浅田トモエ・羽田野浩美・岩元 綾・十田麻由美・福島 聖晃・坂井 澄江・吉村 悦雅
 島本喜多江・篠塚 久・渡邊 智子・中野 裕史・遠越 朱實・崎田 一豊・上田 晴美・楓 省二・永津由美子
 大島 正・中川久美子・野口 忍・岡田 勝彦・阪本 博幸・大本志乃武・松本 庄司・山口 和生・井尾 千恵
 吉松 元位・中川 周二・星野ハルミ・小田 保子・土井 聖子・瀬戸 孝一・村山明日香・吉広 清

【訂正とお詫び】 113号で掲載した賛助会員加入の記事で「古川喜代美」様と掲載しておりましたが、正しくは「古河喜代美」様でした。訂正し、おわびいたします。

皆様のご寄付お待ちしております！

北九州市社会福祉協議会は地域福祉の推進を目的とし、広く地域住民の参加を得て、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりの実現に努めています。ご協力いただいたご寄付や賛助会費は、ご厚意を充分尊重し、地域の支援が必要な世帯を中心に見守り、支え合う『ふれあいネットワーク活動』、生きがいや健康づくりを進める『サロン活動』や次世代を担う子どもたちの体験型福祉教育『ウェルクラブ活動』を始めとした、様々な地域福祉活動に活用させていただいております。また、ご香典の一部をご寄付いただき、地域福祉に役立たせていただく香典返し寄付なども受け付けております。今後とも皆様の温かいご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、ご寄付や賛助会費をお納めいただいた際は、ご希望に応じて広報紙『もじくしゃきょうだより』(年3回発行)にてご紹介させていただきます。



サロン活動で介護予防

賛助会(年会費)

■団体会費

一〇 10,000円

■個人会費

一〇 1,000円

賛助会費は振込も可能です。ご希望の方は、手数料のかからない振込用紙を送付いたします。

門司区シルバー文化祭・ぬくもり作品展の廃止について

門司区シルバー文化祭並びにぬくもり作品展は、年長者や障害のある人の社会参加や生きがいづくりの促進等を目的として長年開催してまいりましたが、近年では市民センター行事をはじめとする身近な場所での社会参加の機会が充実してきたことから、このたび事業を廃止することといたしました。今後は、地域関係者と連携し、より多くの年長者や障害のある人が、身近な地域において活躍できる機会の創出を進めていくこととしております。区民の皆様のご理解をお願いするとともに、長年にわたるご協力に厚くお礼申し上げます。

